

#### 4. 20秒ルールの適用

- ① 走者がいる場合に適用する。
  - ② 20秒の計時は、次のときに始まり、いずれの場合も投手の手から離れたときに終わる。
    - A) イニングが始まるときやボールデッドになったときは、球審がプレイを宣告したとき。
    - B) ボールインプレイの状態で、新しい打者が打撃を開始するときや、バッタースポックスの外に出ざるを得なくなったときなどは、投手がボールを保持し、打者がバッタースポックスに入って投手に面したとき。

※投手が投手板についているかどうかに関係なく、打者の準備が整ったときに計時を始める。

  - C) ボールインプレイの状態で、打者がバッタースポックス内で打撃を継続しているときは、投手が捕手や他の野手からボールを受け取ったとき。
- ③ 1度目・2度目に20秒を経過したとき(21秒になったとき)、2塁審はタイムを宣告し、球審、投手及び、守備側の監督に20秒が経過したこと及び、その回数を知らせる。
  - ④ 3度目に20秒を経過したとき(21秒になったとき)、2塁審と球審は、走者がいないときと同様の処置をする。
  - ⑤ 投手が塁に牽制球を送球したときは、20秒の計時をリセットする。
- ※投手板をはずしただけのときや偽投の時は、計時を継続する。

以上

日本リトルシニア中学硬式野球協会が1月7日付で示した「ガイドライン」の文面に、一部文字の修正及び文言の追加を行っています。

(1) 文字の修正

時計を計時に修正

(2) 文言の追加(20秒ルール②項B)

B) ボールインプレイの状態で、新しい打者が打撃を開始するときや、バッタースポックスの外に出ざるを得なくなったときなどは、投手がボールを保持し、打者がバッタースポックスに入って投手に面したとき。